

配信登録をいただきまして、誠にありがとうございます。
大槻事務所のメールマガジンをお送りいたします。

2013年6月号

*.☆

【目次】

- ▼不定期連載 所長 寺田晃のひとり言
- ▼大槻事務所スタッフのおすすめの〇〇 (第10回目) 鈴木 沙織 編
- ▼大槻事務所だより 6月号
- ▼7月無料セミナー案内

- ▼不定期連載 所長 寺田晃のひとり言

国民栄誉賞の表彰式を見て

5月5日の子供の日、「ミスター」、「ゴジラ」の愛称で親しまれる元巨人軍監督の長嶋 茂雄氏と 巨人と大リーグのヤンキースなどで活躍した松井 秀喜氏の2人に、そろって「国民栄誉賞」が授与された。野球少年であった私には、大変喜ばしい出来事である。

この度の表彰は、現役時代の国民を熱狂させた活躍もさることながら、2人の「師弟愛＝絆」の深さが決め手となったようだ。

まず、

1. 松井氏が生まれた(74年6月)年に長嶋氏が現役を引退(同年10月)している。「我が巨人軍は永久に不滅です」という名ゼリフを言い残した。
2. 長嶋氏が12年ぶり2度目の巨人軍監督に就任した直後のドラフトで、4球団競合の中で松井氏を引き当てた。
茶目っ気たっぷりに上目づかいで「ニコッ」と親指を立てたポーズが今でも忘れられない。
3. 松井氏が入団後に「4番100日計画」を目標に掲げ、徹底した素振りで鍛え上げたという。

ある時は長嶋邸の地下で、ある時は遠征先のホテルで素振りをさせ、そのスイング音の良し悪しでその時の調子が分かったそうである。いかにも感覚の長嶋氏らしい。また、その指導は、松井氏がメジャーに行ってから長嶋氏が渡米した際などに続けられたようだ。

このように、因縁めいた2人ではあるが、表彰式で、左手で賞状や金バットを受け取った長嶋氏に松井氏がそっと手を添えていた場面を見たときに、この2人の師弟愛の深さを再認識させられた思いだ。

今度は、松井氏が長嶋氏から受け継いだものを次の世代に伝える必要がある。この師弟には、日本の野球界をけん引することが宿命づけられているのだから。

昨今、スポーツ界でも監督・コーチの体罰やいじめといったことが問題になっているが、この師弟には、どこか爽やかさが漂う。

ところで、私は熱烈な阪神タイガースファンであるが、長嶋氏は格別な存在なのだ。敬遠されるのが嫌で、バットを逆さに持って打席に入ったり、ホームランを打ったのに一塁ベースを踏み忘れてアウトになったりする、そんな長嶋氏が大好きである。守備位置から後の打球は捕りに行かなかったらしい。なぜかと言うと、「後に上がるフライは、三塁手の見せ場ではない」そうだ。だから、遊撃手の前に来た打球でも猛然とダッシュしカットして一塁へ送球。そのまま手をヒラヒラさせてダックアウトまで戻って来る・・・カッコイイ。

私も背番号は「3」である。東京都社会保険労務士会中央統括支部の野球部の監督(プレーイングマネージャー)をしている。

所長 寺田 晃

▼大槻事務所日より

6月号の特集は「労災保険法・雇用保険法の適用の対象となる労働者」についてです！

▼大槻事務所スタッフのおすすめの○○ (第10回目) 鈴木 沙織 編

私のオススメは「展覧会」です。

今年は近年稀にみる当たり年です！

ルーベンス、ミュシャ、レオナルド・ダ・ヴィンチ、ラファエロ、ミケランジェロと、有名な画家が2~3カ月のスパンで展覧会を開催しておりますので、少しでも興味を持たれた方は是非チェックしてみてください。

私が美術・芸術に興味を持ったのは高校2年生での修学旅行がきっかけです。私が通っていた

高校では、毎年海外への修学旅行が定番となっていました。行先はイギリス・フランス。1週間かけて2カ国の観光地を分刻みのスケジュールで巡るという弾丸ツアーでした。それでも本物の美術・芸術を自分の眼で見ることで、その作品が創られた時代背景や技術、思いなどを『考える楽しさ』を学べた貴重な1週間となりました。

イギリスの大英博物館では、『エジプトのミイラ』や『パルテノン神殿の彫刻』など、割と大きめの芸術品をたくさん見ることができました。中でも感動したものは『死者の書』と『ロゼッタストーン』です。まさか生きているうちに自分の眼で実物を見ることができるなんて…と世界史の授業を思い出しながら見学していたのです。しかも、驚くことに大英博物館では写真撮影が可能です！！（フラッシュは禁止）。ここぞとばかりに写真を撮り、夢中になりすぎて集合時間を忘れてしまい先生に注意されたことも今では良い思い出です。ちなみにその時の写真はパソコンに保存しており、今でも時々眺めています。

フランスではルーブル美術館・ベルサイユ宮殿等を見学しました。ルーブル美術館といえば『モナ・リザ』です。平日の昼間の見学にもかかわらず沢山の観光客に囲まれておりましたが、人の波を掻い潜りいざ目の前へ！思っていたよりも少し小さめでしたが、教科書やテレビで見るよりも断然迫力がありました。一番衝撃だったのは『ナポレオン1世の戴冠』です。とにかく大きい！写真撮影可能だったのですが、あまりにも大きすぎてフレームに収まりきらなかったのが悔やまれます。どの写真も歩きながら撮影したため、ピンボケしたり暗かったりと残念な写真になってしまいました。

上手く私の感動をお伝えできておりませんが、どの作品にも『もう一度見たい！』と思わせる吸引力のようなものがありました。

さて、展覧会に行くからには基本的な知識や見どころを少しでも予習していけたら何倍も楽しい時間が過ごせるはずです。修学旅行の場合には、授業を通して歴史や画家について学んでおりましたが、教わる機会がない今、どのように予習したらよいの？というところを少し紹介いたします。あくまでも私の予習法ですのであしからず…。

1. お昼休みに特設サイトをチェックする

特設サイトには必ず、その展覧会の目玉となるテーマの解説が掲載されます。画家の歴史や作品の時代背景などが簡単に、それでも重要な部分を取りこぼさないようまとめられておりますので、お昼休み等にさらっとチェックしておくとういと思います。

2. 『ぶらぶら美術館』を見る

山田五郎さん、おぎやはぎさん、相沢紗世さんが開催中の展覧会を紹介していくTV番組です。この番組の良いところは、学芸員や専門で研究している専門家の方たちが見どころや豆知識を解説し、おぎやはぎさんが素人感覚でコメントしていくところです。堅苦しくなく、美術・芸術を身近に感じられること間違いなしです！

(BS 日テレ、毎週火曜日 20 時からスタート)

また、展覧会見学は 1 人で見て周るのがオススメです。

他人のペースに合わせて鑑賞しようとする、目にとまった作品をじっくりと鑑賞できなくなるからです。必ずしも有名な作品ばかりが目にとまるわけではなく、自分の好みやその時の気持ちで魅了される作品は変わっていきます。ピンときた作品があれば、正面からは勿論、様々な角度から見ることで、作品の雰囲気・捉え方も変わってくるはず。 「お友達の感想も聞いてみたいわ」という方は、全てを見終わった後、併設されているカフェで思う存分語りあって下さい。また、ミュージアムショップにはそこでしか買えないグッズが沢山ありますので、買い逃しのないよう気をつけて下さい。私は、悩んだ末に買わなかった結果、帰り道に「やっぱり買っておけば…」と後悔することがあります。買わないで後悔するより、買って後悔して下さい！

さて、皆様の中にもご存知の方がいらっしゃるかと思いますが、大槻事務所がある銀座には沢山のギャラリースペースがあります。

私は『球体関節人形』という人形が好きで、たまに個展も見に行ったりします。個展の良さは、作家さんが不定期で在廊しているところで、運が良ければお話をするチャンスもあります。また、先に話した展覧会のように大規模なものではないので周りを気にせずじっくり鑑賞することができます。私が知る限り、絵画だけでなく、サブカルチャーに分類されるものでも個展を開催しているようなので、銀座をお散歩するだけでも楽しいかもしれません。

私自身、セミナーのチラシや給与業務に関する案内書の作成に関わるようになり、こうした「目で見える作品」がとても参考になっております。美術品だけでなく、パンフレットや作品の説明文など、どうすれば分かり易くお伝えできるのかという部分などの勉強にもなります。まだまだ力不足ではありますが、皆様に興味を持っていただけるようなチラシを作るためにも、たくさんの展覧会に行きたいと思っております。

ここまで一所懸命私のオススメを紹介してきましたが、かくいう私は、今年あまり展覧会に足を運ぶことができておりません。しかし、ここで皆様に良さをお伝えすることで、今猛烈に展覧会に行きたくなっております。まずは、クリュニー美術館所蔵の『貴婦人と一角獣』が日本に来ているので見に行ってみようかと思っております。本物を見る機会はあまりないので、是非皆様も本物を見に足を運んでみて下さい。

◆鈴木のおススメギャラリー◆

銀座人形館：<http://www.angel-dolls.com/index.html>

アンティークドールの展示・販売を行っているギャラリーです。

< 鈴木 沙織 (すずき さおり) プロフィール >

2011年5月入所 給与計算センター室所属。良く聴く音楽はロック。

▼7月セミナーのご案内

次回開催が決まりました！

< テーマ > 大丈夫ですか？ 御社の就業規則！！ ～社会保険労務士から見た作成のポイント～

< 日時 > 2013年7月19日(木) 受付13:30 開始14:00

< 場所 > 大槻事務所 (友泉銀座ビル8F)

< 定員 > 先着24名

< 講師 > 特定社会保険労務士 大槻 智之

< 内容 > 何となく見過ごしがちな“落とし穴”を実務家である社会保険労務士が解説します！！

- ・インターネットで見つけた就業規則の雛型を社名だけ変えて使っている
- ・10年前に作って以来、法改正以外は対応していない
- ・外部に委託したがヒアリングはほとんど受けなかった
- ・自信なかったが、監督署が受け付けたのだから安心だ
- ・そもそも全部読んだことがない

どれか一つでも該当したらぜひお申し込み下さい。

トラブルになる前にやっておくべき就業規則作成のポイントをわかりやすくお話します。

< 料金 > 無料

※セミナー終了後、ご希望の方には個別に無料労働相談を予定しております

(30分程度を予定)お申込み順となります。相談開始時間は未定となりますことをご了承下さい。

貴社の就業規則をご持参いただき、セミナー終了後の無料労働相談を是非ご利用下さい。

★無料セミナーのお申し込みは、こちら↓↓

<http://www.otuki.org/index.php?act=seminar3>

◆メールマガジンの停止または配信先の変更については、下記の URL にてお手続きをお願いいたします。

<http://www.otuki.org/index.php?act=mailmaga>



◆編集後記

大槻事務所スタッフのおすすめの〇〇シリーズも 10 回目を迎えました。食べ物からスポーツ、旅、モノ、芸術などいろんな話題が出ておりますが、スタッフの数だけ話題も様々だとバックナンバーを見返しておりました。<http://www.otuki.org/index.php?act=mailmaga>

私のオススメは「カシオの電卓」です。JS-12 型で 10 年前から使用していますが、適度な傾斜がキーをたたく際に抜群の安定感を保ち、さらに、ちょっとたくましい小さい私の手にサイズがぴったりです。(もちろん、もともとあらゆる手のサイズを計算されてのサイズだと思いますが) また、計算途中に悩んだ時、プラスキーを連打する癖のある私にキーのそのタッチ感は、癒しを与えてくれます。手の小さな、ちょっと指の太い方と電卓に癒しを求める方にお勧めです。

関東地方は梅雨入り宣言しましたが、雨が降らなければナイター観戦などもいいですね。あわせて蒸し暑い日など涼しい美術館で芸術に触れながら過ごすのもまたいいですね！

鈴木職員の写真はこちら

<http://blog.livedoor.jp/otsukiorg/archives/6555154.html>

また掲載がもれてしまいました。先月の平木職員の写真はこちらです。

<http://blog.livedoor.jp/otsukiorg/archives/6498891.html>

編集・発行： 社会保険労務士法人 大槻経営労務管理事務所 加藤 悦子

問い合わせ： https://ssl58.heteml.jp/ipocket/form_otsuki/index.php?act=form_contactus

Web サイト： <http://www.otuki.org/>